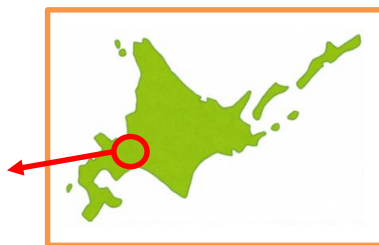


取組の概要

計画作成主体：京極町地域農業再生協議会
 対象品目：葉物野菜（産地面積 1.038ha）
 主な取組主体：(有)M&Tアグリシステム
 成果目標：販売額の10%以上の増加
 基準（H29年度）520,698円/10a
 目標（H33年度）574,583円/10a
 導入施設等：生産支援事業（ハウス導入）
 （機械リース 温風機・給水設備）

北海道
京極町
京極地区



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

土地利用型作物が中心のため高収益作物の導入が進んでおらず、また、通年雇用体制の未確立により、農繁期の雇用労働力確保が困難な状況にある。
 このことから、高収益作物の葉物野菜の中心的経営体において省エネ生産方式を導入するほか、冬期間への栽培も拡大し、販売額の増加を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

①保温性能の高い省エネ生産方式を導入したパイプハウスの導入や農業機械のリース導入を支援

推進体制

・京極町
 ・JAようてい京極支所
 ・農業改良普及センター

京極町地域農業再生協議会
 ①計画の策定・管理
 ②取組計画への助言

指導・助言

情報共有

・協議会と取組主体との情報共有（取組状況等）
 ・行政機関（京極町）等によるサポート体制

取組主体（M&Tアグリシステム）
 ①取組計画の作成
 ②取組実施 等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

・関係機関による葉物野菜を含めた野菜の通年出荷を目指した作付体系の検討
 ・通年雇用確保を目的に野菜の冬期の生産振興を推進

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

①冬期間における高収益作物の栽培期間の拡大による作付面積の拡大と収益性の向上

【事業実施による間接効果】

①冬期間での営農活動による通年雇用労働力の確保



販売額の増加

～葉物野菜の販売額～

